

春、待ち遠しいですね。みなさんは、春をどこで感じますか？私は、花粉の飛来で、鼻がおずおずしたらく春>となります。目も痛痒く、ついには喉までやられてしまいます。体はだるく、気持ちまでも萎えてきます。これが、私の春の始まりです。もう1つ、ふきのとうが毎年庭先に出てくるのですが、小さな黄緑色の突起物をを目にすると、嬉しくなります。自然の機微に心が向くようになって数年、以前より心が穏やかになり、様々なことに優しくなれてきたように思います。自然を愛でる心は。自らの心を癒してくれる。自然の浄化力だと思います。みなさんも、春を感じてください。



## < 第2回外国語活動研究委員会開催 >

2月8日(金)、富士河口湖交流センター(教育センター所在地)において、第2回外国語活動研究委員会が開催されました。町内の小中学校から、放課後の忙しい時間にも関わらず多くの先生方が集まりました。

富士吉田市立下吉田中学校英語科担当の野澤今日太先生においでいただき、『小学校外国語活動と中学校英語～連携のために～』と題して講演をしていただきました。

子ども・地域の実態を踏まえた全国の豊富な実践を紹介しながら、外国語活動を通して、子どもたちにどのような力をつけたいのか、という目的を明らかにして指導を行っていくことの大切さを教えて下さいました。



また、南都留における小学校外国語活動の授業ダイジェスト版をビデオで紹介しながら、小学校の現状や課題、効果的な指導方法等についても教えていただきました。小中学校連携の提言には考えさせられました。講演に基づいての質疑や討議、意見交換が活発になされ、たいへん実りの多い研究委員会となりました。

研究委員会には、健康科学大学の井上美奈子教授、小中学校の両方を経験なさっている船津

小学校教頭の依田悟先生も参加していただき、研究委員会の輪の広がりを実感しました。

外国語活動に関わらず、教育の様々な課題を、町内だけに留まらず、近くは富士吉田、県外の情報を取り入れ、より地域に見合った情報を発信していこうと思います。

教育センターは、先生方やお父さんやお母さん、教育に心を寄せる方々の学びの場であり、相談の場です。ご活用ください。